



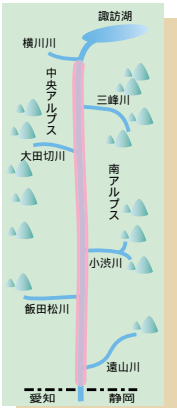
生活型：多年草
 分布：本州～九州
 形態等：茎は上部で枝分かれして、高さ50cmほどになる。葉は長さ3～10cmの線形または披針形。基部は少し茎を抱く。花期は7～10月で、淡い紅色の花を咲かせる。

天竜川上流における分布

飯田市阿島橋と飯島橋天王橋で確認した。個体数は少ない。日当たりのよい草原や河原に生育する。



生活型：1～多年草
 分布：帰化植物、ヨーロッパ原産。
 形態等：茎は高さ30～80cmになり、花のつく節の下に粘液を分泌する。葉は対生し、基部は茎を抱く。花期は5～7月で紅色の小さな花が茎の先に集まって咲く。

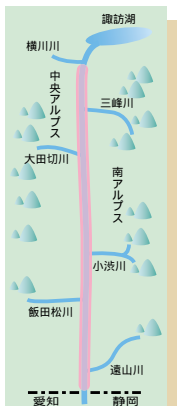


天竜川上流における分布

全域で確認した。個体数は多い。日当たりのよい砂れき地や堤防草地などに生育し、場所によっては群生する。



生活型：多年草
 分布：帰化植物、ヨーロッパ原産。
 形態等：茎は高さ40～60cm。葉はやわらかいがやや厚い。花期は夏で、花は茎の先に集まり、白色でわずかに紅紫色を帯びる。種名の「サボン(シャボン)ソウ」は葉や茎を浸してもむと泡が出て、石けんに代用できることからつけられたといわれる。

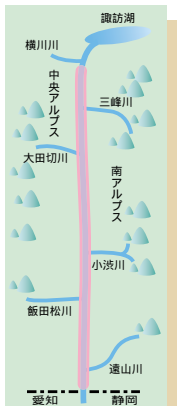


天竜川上流における分布

全域で確認した。個体数は多い。日当たりのよい砂れき地や堤防草地に生育する。



生活型：1年草
 分布：北海道～南西諸島
 形態等：茎は高さ60～150cmになる。葉は長い柄をもち、下方のものは三角形で上方へいくほど幅が狭くなる。若葉は両面とも粉のような毛に被われ、白色ときに淡い紅色。花期は9～10月で、白緑色の小さな花がたくさん集まる。史前帰化植物ともいわれる。
 類似種：アカザ..若葉の毛は紫紅色で、葉はやや色が濃く、幅も多少広い、中国原産の帰化植物。



天竜川上流における分布

全域で確認した。日当たりのよい堤防草地や高水敷の砂地に生育する。



生活型：1年草

分布：帰化植物、南アメリカ原産。

形態等：茎は高さ30～80cmになり、毛が多い(少ないものもある)。葉は普通、ふぞろいのあらいぎよ歯がある。花期は夏～秋で、小さな緑色の花が穂状に咲く。

天竜川上流における分布

ほぼ全域で確認した。半日陰の湿った砂地や砂れき地に生育する。



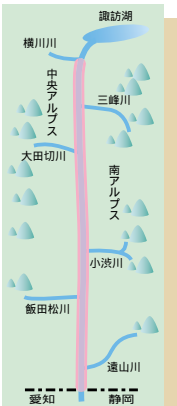
生活型：1年草

分布：本州～南西諸島

形態等：茎は高さ30～70cmになる。葉は細く広い線形～長卵形で、厚みがある。花期は7～10月、花は密に穂状につき、穂の下部は枝を分ける。

天竜川上流における分布

駒ヶ根市より下流で確認した。個体数はそれほど多くない。乾燥し、日当たりのよい砂れき地に生育する、河川環境特有の植物である。



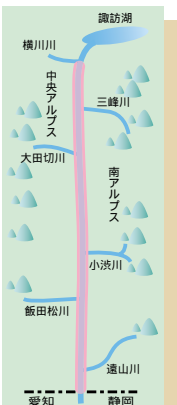
生活型：1年草

分布：帰化植物、南アメリカ原産

形態等：高さ1～2mになり、茎はしばしば赤く染まる。葉はひし形の卵形で長さ5～12cm、長い柄がある。花期は7～10月、茎の先や葉のわきに白緑色の花穂を多数つける。

天竜川上流における分布

全域で確認した。日当たりのよい堤防草地や高水敷の草地などに生育する。



生活型：1年草

分布：本州～南西諸島

形態等：茎は高さ30～50cmになり、上部でよく枝分かれする。茎と葉柄に荒い毛を密生する。葉は3つに分かれて深く切れ込み、両面に毛がある。花期は4～6月で黄色の花が咲く。瘦果の先の曲がりは著しいがぎ状になる。

類似種：キツネノボタン...茎や葉柄に開出する毛が少なく、瘦果の先の曲がりががぎ状にならない。

天竜川上流における分布

全域で確認した。日当たりのよい湿った草地に生育する。



生活型：多年草、沈水植物

分布：北海道、本州

形態等：茎は長さ1～2mになる。葉は細かく裂け、全体はふさ状となる。花期は6～8月で、径1.5cmほどの白い梅花状の花が葉のわきにつく。花粉は水の表面あるいは水中に散布され、受粉する。

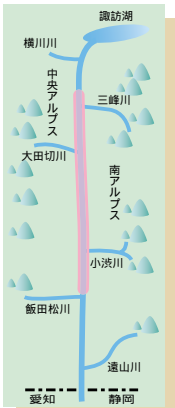
天竜川上流における分布

駒ヶ根市新宮川合流・北の城橋、箕輪町三日町、辰野町相合橋で確認した。通常、山野のきれいな流水中に生育する種であることから、支川より流下してきた個体も含まれていると思われる。

撮影 EAC



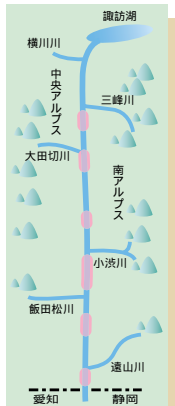
生活型：2年草
 分布：北海道～九州
 形態等：茎の高さは40～120cmになる。全体が粉白色を帯びる。葉は下部のものほど大きく、披針形で、基部はやじり型となって茎を抱く。花期は4～6月、茎の上部に黄色を帯びた白色の花をつける。



天竜川上流における分布

飯田市から伊那市にかけて確認した。個体数は少ない。堤防草地や高水敷の草のまばらな草地に生育する。

撮影 今井



生活型：多年草

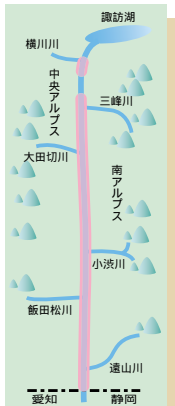
分布：本州～九州

形態等：茎は高さ1～2mになり、中空で太く、切断すると黄色の乳液が出る。葉は広卵形で、羽状に切れ込む。花期は6～8月で、小花は白色、茎の先に大きな花序をつくる。有毒植物で、かつてはウジの殺虫に用いられた。

天竜川上流における分布

三峰川合流点より下流の所々で確認した。日当たりのよい砂れき地に生育する。

撮影 EAC



生活型：多年草

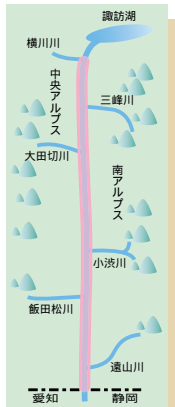
分布：帰化植物、ヨーロッパ原産。

形態等：茎は高さ30～80cmになる。根元付近の葉は羽状に切れ込み、上部の葉は無柄で基部は耳型となり茎を抱く。葉面は濃緑色でやや厚く光沢がある。花期は早春で、鮮やかな黄色の花が咲く。

天竜川上流における分布

ほぼ全域で確認した。水際の砂れき地や砂地に生育する。群生する場所では、春先の殺風景な河川敷が黄色に染まる。

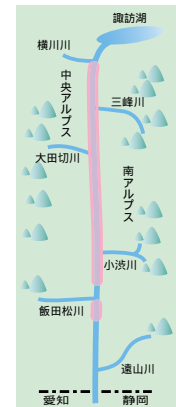
撮影 今井



生活型：1年草
 分布：北海道～西諸島
 形態等：茎の高さは15～30cmで、根元で多数枝分かれし、上部は斜めに立つ。葉は羽状に切れ込む。花期は3～5月で白色の花をつける。果実は細長く、斜めに開く。

天竜川上流における分布

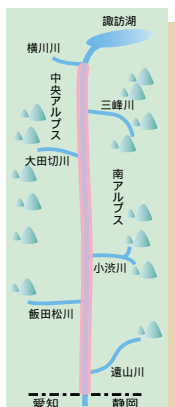
全域で確認した。流れの緩い水際の砂地や湿性地に生育する。



生活型：多年草
 分布：帰化植物、ヨーロッパ原産。
 形態等：茎の高さは50cmほどになる。下部は水中や地表をはい、節から根を出し急速に繁殖する。葉は上部の葉が最大で、羽状に切れ込み、深い緑色。花期は5～8月、白色の花が咲く。肉料理のつけ合わせやサラダなど食用とされる。別名「クレソン」

天竜川上流における分布

飯田市より上流のほぼ全域で確認した。清流に分布する種であり、伏流水や支川の流れ込み付近の水中や湿地に群生する。



生活型：1年草
 分布：帰化植物、北アメリカ原産。
 形態等：茎の高さは15～60cm、上部で枝分かれする。根出葉は柄が長く、羽状に切れ込み花期には枯れる。上部の葉はほとんど柄がなく、葉身は細く切れ込みは浅い。花期は5～6月で、茎の上部に多数の白い花をつける。和名は果実が軍配の形に似ているからである。

天竜川上流における分布

全域で確認した。個体数は多い。日当たりのよい砂れき地に生育する。



生活型：多年草
 分布：関東地方南部以西、四国、九州
 形態等：高さ10～15cmの多肉植物。株元に子株を多数つける。葉は密につき、細長く、先がとがる。花期は9～10月で、多数の白色の花を長い総状の花序につける。開花した株は枯れる。

天竜川上流における分布

数カ所で生育を確認した。乱獲や生育地の減少により、絶滅の心配される種である。1989年レッドデータブックでは危急種、1997年レッドリストでは準絶滅危惧種とされているため分布の図示は避けた。



撮影 土田

生活型：多年草
分布：本州～奄美大島
形態等：茎は高さ30～80cmになり、直立する。秋には全体が鮮やかな赤褐色を帯びる。葉は披針形で、長さ6～11cm、縁に細かいきよ歯がある。花期は8～10月、黄白色の花をつける。花序に花のつく様子がタコの脚の吸盤に似ていることから名前がつけられた。

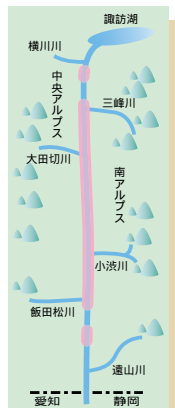


天竜川上流における分布

1カ所で生育を確認した。洪水の減少など河川の安定により本種の生育環境は減少し、絶滅の心配される種である。1989年レッドデータブックでは危急種、1997年レッドリストでは絶滅危惧類とされているため分布の図示は避けた。



撮影 EAC



天竜川上流における分布

泰阜村長瀬橋より上流のほぼ全域で確認した。個体数は少ない。日当たりのよい乾燥した砂れき地に生育する河川環境特有の植物である。

生活型：多年草
分布：本州～九州
形態等：茎は根元から分枝して四方に広がり、先の方は斜めに起きあがって花をつける。葉は羽状に切れ込み、表面は緑色であるが裏面は綿のような白毛が密生する。花期は6～8月、黄色の花をつける。

レッドデータブック

レッドデータブックとは、「^{ぜつめつ}絶滅のおそれのある野生生物は何か」、「今後絶滅の危険にさらされる可能性の高い種はどれか」を明らかにするためにつくられる生物のリストです。様々な事業に伴う生物保護対策や計画立案のときにも役立てられます。

先駆けは、IUCN（国際自然保護連合）が世界中の動物を対象にしてつくった「Red List（レッドリスト）」（1966年）です。その後、日本でも国内の動物類を対象に、環境庁が「日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック -」（1991年）を刊行しました。植物では、IUCNの「絶滅の危険性」の区分（カテゴリーと呼びます）を参考にして、(財)日本自然保護協会が「我が国における保護上重要な植物種の現状」（1989年）を刊行しました。そして先頃、IUCNが基準の見直しを行った（1994年）のをきっかけに日本でも見直しが行われ、昨年、環境庁より植物版レッドリストが発表されました。他の生物についても、見直しが行われています。

環境庁は、この中で特に絶滅のおそれの高い種については、生育状況の詳細な調査を実施し、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により保護を行っていくことにしています。

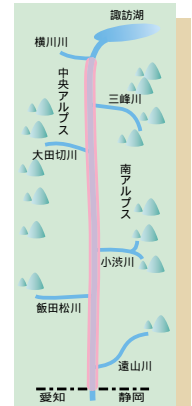
さらに近年、「^{ぜつめつ} 県版レッドデータブック」といった地域単位で「絶滅の危険性」を検討する動きが出てきました。生物の生息・生育状況は全国一律ではありませんから、これは当然の動きといえるでしょう。ちなみに、長野県では統一的なカテゴリーの区分に沿ったものはまだつくられていません。

1997年版レッドリストのカテゴリーは、1994年のIUCNの区分を多少補いながら、以下のように区分を行っています。

- ^{ぜつめつ}絶滅種 : 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
- 野生絶滅種 : 飼育・栽培下でのみ存続している種
- 絶滅危惧種
 - 絶滅危惧 類 : 絶滅の危機に^{ひん}瀕している種
 - 絶滅危惧 類 : 絶滅の危険が増大している種
- 準絶滅危惧種 : 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- 情報不足 : 評価するだけの情報が不足している種



撮影 今井



生活型：低木、落葉樹

分 布：北海道～九州

形態等：高さ2m程になる。葉は複葉で、3～4対ある小葉は長さ2～5cmの卵形または長楕円形。表面は光沢がない。花期は5～6月、花は白く、枝の先に集まって咲き香りがよい。

類似種：テリハノイバラ(56p)

天竜川上流における分布

全域で確認した。高水敷の低木林の林床などに生育する。

天竜川に生育している1997年度版レッドリスト記載種

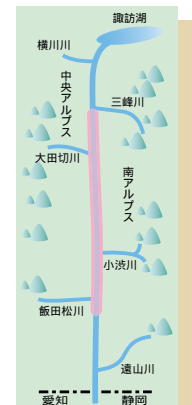
カテゴリー	種 名
絶滅危惧 類	カワラノギク
絶滅危惧 類	ノダイオウ、タコノアシ、イヌノフグリ、カワラニガナ、イトモ
準絶滅危惧	ツメレンゲ、カワヂシャ、ミクリ

生育地の環境や冠毛の特徴からカワラノギクとしたが、本種は従来東海以東に分布するとされているため、分類的にはさらに詳細な研究が必要である。

(百瀬 剛)



撮影 清水



生活型：低木、落葉樹

分 布：本州～南西諸島

形態等：茎は地をはって長く伸び、よく枝分かれる。葉は複葉で、2～4対ある小葉は長さ1～2cmの楕円形または広倒卵形。質は硬く、表面は緑色で光沢がある。花期は6～7月で、花は枝の先に数個付き、白く香りがよい。

類似種：ノイバラ(56p)

天竜川上流における分布

飯田市水神橋から三峰川合流点にかけて確認した。日当たりのよい砂れき地や堤防草地に生育する。



生活型：低木、落葉樹

分布：本州～九州

形態等：高さ30～90cmになる。細い刺が多く、よく枝分かれする。葉は長さ2～5cmの広卵形で浅く3つに裂けることが多い。縁には重きょ歯があり、裏面は粉をふいたように白い。花期は4～5月、短い枝の先に白い花を上向きに1個つける。

天竜川上流における分布

天竜村水神橋と飯田市JR天竜川橋の2ヶ所で確認した。日当たりのよい林縁部や草地に生育する。



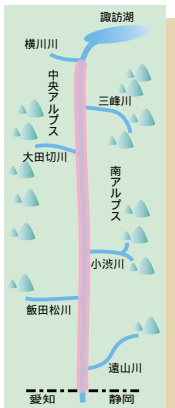
生活型：低木、落葉樹

分布：本州（関東地方以西）四国、九州

形態等：茎は弓状に曲がり、高さ1～1.5mになる。葉は長さ2～4.5cmの狭い披針形で、先は鋭くとがり、縁にきょ歯がある。花期は4月で、白色の小さな花が前年伸びた枝に多数つく。

天竜川上流における分布

飯田市水神橋と駒ヶ根市北の城橋の2地点で確認した。個体数は少ない。駒ヶ根市の確認個体は逸出と考えられる。川岸の岩場などに生育するが、庭や公園にも植えられる。



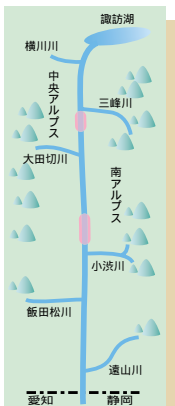
生活型：低木、落葉樹

分布：帰化植物、北アメリカ原産。

形態等：高さ4～6mになる。葉は長さ10～30cmで羽状に分かれ、長楕円形または卵円形の小葉が5～10対ある。花期は6月頃で、暗紫色の花が枝先に穂のようにつき、イタチの尾のように見える。

天竜川上流における分布

全域で確認した。個体数は多い。日当たりのよい砂れき地に群生する。大正時代に砂防用、護岸用として移入され、現在は各地で逸出し群落をつくる。



生活型：多年草、分枝型

分布：本州～九州

形態等：高さ30～60cmになる。葉は羽状複葉。花期は8～10月で、葉のわきに黄色の小さな花をつける。

天竜川上流における分布

中川村飯沼橋、飯島町天王橋と三峰川合流点の3カ所で確認した。分布は局地的で個体数も少ない。日当たりのよい河原や草地など乾燥した場所に生育する、河川特有の植物である。